

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年4月5日（金）

2 確認箇所

- ・陸側遮水壁6BLK（ブロック）-H1付近（2、3号機タービン建屋西側（山側））
- ・陸側遮水壁3BLK（ブロック）-H6付近（旧事務本館前）

3 確認項目

陸側遮水壁ブライン（冷媒）供給管からの滴下事象の対応状況（6BLK-H1、3BLK-H6）

4 確認結果の概要

陸側遮水壁ブライン（冷媒）供給管からの滴下事象の対応について東京電力から対策の状況等を聞き取りするとともに現場を確認した。

- ・東京電力によると、6BLK-H1の事象が発生した原因は凍土造成・維持管理運転の凍上現象によるものであり、当該箇所の対策としては、都度、架台高さの調整を実施するとのことであった。
- ・前回（平成31年1月21日）同様、両現場ともブライン供給管にはビニール養生が施されるとともに滴下した冷媒は漏斗及びチューブによりポリタンクに導かれるように接続されていた。また、両現場とも現場に取り付けられていたポリタンク内には冷媒は溜まっておらず、現場でしばらく見ていたが、冷媒の滴下は認められなかった。（写真1）



（写真1-1）6BLK-H1付近の状況。赤丸は架台高さ調整用のジャッキ。



(写真1-2) 3BLK-H6付近の
状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。